



# 建設業における仮設機材に起因する

## 死傷災害発生状況 (6)～移動式足場(ローリングタワー)～

一般社団法人 仮設工業会 事務局

### はじめに

本会の会報の平成25年10月号から下記のとおり掲載しています。

- (1) 建設業における仮設機材に起因する死亡災害発生状況 (1) [平成25年10月号・災害の概要]
- (2) 建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況 (2) [平成26年1月号・機材センター]
- (3) 建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況 (3) [平成26年2月号・脚立]
- (4) 建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況 (4) [平成26年3月号・梯子]
- (5) 建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況 (5) [平成26年4月号・吊り足場]

今回は、移動式足場の事故が多いことから、厚生労働省のデータベースから、移動式足場に関係すると考えられる事例について紹介します。なお、厚生労働省のデータベースは、休業4日以上のものについて災害発生時毎に全事例のうち、およそ1/4を無作為に抽出したものになっています。

災害発生事例を参考にして、移動式足場を使用する際の災害防止や教育等にご活用ください。

### ■ 移動式足場に関係すると考えられる事例

今回は、平成22年に発生した移動式足場に関する死傷災害を仮設工業会事務局において取りまとめたものです。

No.	死傷災害発生状況 (平成22年)
1	最終沈殿池の管廊部内でローリングタワー(H21.9m)を用い既設との打ち継ぎ部上部の保護モルタル仕上げを行おうと昇降用梯子を一段昇ったときに、ローリングタワーが倒れてきたため、回避しようと背を向けていたところにタワーが倒れてきて受傷した。 ・原因:長辺方向に昇降はしごを設けたため転倒。 ・今後は短辺(長手)方向に昇降はしごを取付よう教育済。
2	ローリングタワーの上にて、キャンピの鉄骨塗装工事中。ローリングタワーを昇りきった時に足元をよく確認せずに移動した為、バランスを崩し転落し骨盤を骨折した。
3	A社の工場足場解体作業中に、ローリングタワーの2段目(2m位)を解体中に、足元がすべりかけたので、下に飛び降りたが、右足の方へコンベアがあったため左足だけでついた為、骨折した。
4	A市B町(史跡跡内)において、「C資料館改修その他工事」作業所で、軒天塗装下地処理作業を行っていた。ローリングタワーの昇降設備を降りる途中で足を滑らせ転落。コンクリート面に着地し、右足踵・足首部を負傷した。
5	建家内部側でオーバードア周りの鉄骨の塗替え作業をするにあたり、ローリングタワー(2段組)に2名の作業員が上に乗リケレン、清掃の作業を行っていた。上部側の作業が終了したため、次の作業であるオーバードア内側の作業を行うために、1人の作業員がタワーから降り、もう1人は乗ったままの状態、オーバードアを開放しようとスイッチを押して、上昇が始まったら、オーバードアの座板部とローリングタワーのキャスター部が接触し、タワーがバランスをくずして転倒したため、上にいた作業員が落下して頭部に損傷をしてしまった。

6	Aの工事において、ローリングタワーの手摺に乗り、配管支持金物を取付けして、作業床に降りる際足を滑らせて墜落した。
7	2階段アパートでローリングタワーを2段組んでハフの取付作業後ハフの塗装をする際にすぐ近くに車があったので、ローリングに飛散防止ネットをはり塗装作業中に強風になった為ネットをはずしていた時に強風にあおられローリングタワーがたおれローリングと共に転落。
8	倉庫の配線工事中に、ローリングタワー(高さ2m)から、バランスをくずして、転落し、足の踵を骨折した。
9	体育館内ローリングタワー(高さ約6m)上で、水平ネットの除去作業中に、水平ネットが体育館内のバスケットゴールに引っかかっていたので、引っかかりを取ろうとして誤って落下。
10	A地区当社A倉庫敷地内で大型トラック後方部扉の上部閉め金具を、ローリングタワーに上り整備中、誤って足を滑らせ高さ約2メートルから落下、尻餅をついた際、腰部及び右手を負傷する。
11	デッキで鋼材の溶接作業実習中、隣の作業場に設置されていたローリングタワー(金属パイプで檜状に組まれた足場)が微調整中に倒れてきたため、そのパイプで腰を強打。
12	デッキで鋼材の溶接作業実習中、隣の作業場に設置されていたローリングタワー(金属パイプで檜状に組まれた足場)が微調整中に倒れてきたため、そのパイプで膝を打ち、その後同僚を助けようとして、穴に足を踏み外した。
13	デッキで鋼材の溶接作業実習中、隣の作業場に設置されていたローリングタワー(金属パイプで檜状に組まれた足場)が微調整中に倒れてきたため、そのパイプと溶接していたL型鋼との間に右腕を挟まれる。
14	被災者は遺跡発掘調査作業現場で遺溝写真撮影後、ローリングタワー解体作業中手渡しで部材を上段から降ろしていた時、体を捻り腰に痛みを生じた。部材を手渡しする際、受け取る下方の作業員との離すタイミングが合わず引っ張られた。
15	A工場増築の配管工事現場で配管パイプ溶接後のペンキ塗りを、工事現場南西方向の隅にある屋内の場所で高さ約3.4mのローリングタワーの上部に上り一人でヘルメット、安全帯、安全靴の装備をして作業を終了して下に降りる最中にバランスを崩して床に落下した結果、頸部損傷、肋骨の骨折の傷病を被った。
16	鶏舎のケージ受けを取り付けるため、1段のローリングタワーの上で同僚のAと作業していたが、ストッパーをかけ忘れ、ローリングタワーが動いたため、バランスを崩し、飛び降りた際ケガをした。
17	4階で天井地下組立用の移動式足場(高さ1.8m)の盛替中に足場板を結束しようと上に登った所、キャスターのストッパーがかかっていたいなかったため、移動式足場が動き、バランスを失い、1.8m飛び降り、顔を裂傷し、右足首を骨折した。

## ■ 移動式足場に関連して発生した災害事例について言えること。

上記の事例から考察できるポイントとして、下記のようなことが挙げられる。

- (1) 移動式足場の昇降中に移動式足場が倒れたり、足を滑らせたりして墜落している事例がある。
- (2) 移動式足場に飛散防止用ネットを張り、強風にあおられて移動式足場が倒れ、墜落している事例がある。
- (3) 移動式足場を微調整する際に転倒した事例がある。
- (4) 移動式足場の脚輪のストッパーをかけ忘れ、移動式足場が動き、飛び降りた際に怪我をした事例がある。